

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第60回 ビジネス文書実務検定試験 (30.7.1)

# 第3級

## 速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

### 〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

### 〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第60回 ビジネス文書実務検定試験 (30.7.1)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

社会人に必要なスキルとして、クリティカルシンキングを挙げる	30
場合がある。日本語では批判的な思考法と訳され、まだなじみのない言葉かもしれない。しかし、海外では小学生の頃から学習しており、ビジネスの現場でも活用されている。	60 90 110
この思考法は、情報や他人の意見を非難するといった否定的なものではない。常識や思い込みが、本当に正しいかどうかを疑ってみることを指す。広い視野で物事を考察し、課題を解決していく手法である。	140 170 200 205
この手法を身に付ければ、自分の考え方のくせを修正し、ものの見方を新たに確立することが可能になる。将来、様々な課題に直面する機会があるだろう。最善策を発見していくために、このスキルを習得することが望まれている。	235 265 295 310